

# 校長室から

令和3年3月1日

## 卒業していく赤学年に送る「手紙」② 義務教育最後の儀式は 人間と人間との(暗黙の)約束

卒業式の練習をする3年生



### 人間同士の 暗黙の約束



昼休みに練習を繰り返す2年生の合唱団  
初めての予餞会に向けて練習をする1年生  
卒業式の打合せをする教職員

3年生の生活もいよいよ最後の週となりましたね。数週間前から本校は、皆さんの進路実現と卒業式に向けての準備で、年度末を実感する時期となりました。4日(木)は、いよいよ公立高等学校の入学試験、これまで準備してきたことが発揮できるように応援しています。まずは当日、心身共に健康な状態で席に着き、始業のチャイムが鳴ることを祈りたいと思います。皆さんは、特に今年は休校期間が長かったため、焦りながら、不安を感じながらここまで走ってきたと思います。受験票もすでに学校から配られています。もう一度確認してください。何か不安な事がある場合は、学年の先生、担任の先生に相談してください。受験する学校の場所はわかりますか。教室に持ち込んではいけないものは理解していますか。しっかりとした準備をして、分からない事は先生方に聞いてください。皆さんにとってとても大切な最後の入試です。遠慮しないで先生方を頼ってください。

入試が終わり、学校に戻ってくると、予餞会、そして卒業式です。この1週間で皆さんの中学校の全教育課程は修了します。皆さんも少し前から卒業式の練習をしたり、歌の練習をしたりと少しずつ、その日を実感しているかもしれません。担任の先生、学年の先生方も同じだと思います。

私も同じです。3年前の予備登校で初めて皆さんが整列している姿を見てから、様々な事があり、月日が経過しました。そして皆さんの心身の成長を実感しています。この間、この長町中学校から緑学年、青学年の先輩方が卒業していきました。それぞれ学年の個性があり、一人一人の個性があり、特色ある集団が形成され、旅立っていきました。そして赤学年。皆さんが大きく成長した姿を嬉しく思う気持ちと、別れの日が迫ってくる寂しさが入り交じっています。

昨年の青学年の卒業式は、いつもお祝いしてくれる保護者、ご来賓の方々、合唱団は立ち会うことができませんでした。そして式終了後の下級生との交流もありませんでした。とても寂しい思いだったと思います。教職員以外誰も入れない体育館で、卒業生は、私たちの拍手とピアノ演奏だけで見送られて巣立っていきました。だからこそ私たち教職員は、全員で「生徒は気付かないかもしれないけれど」体育館をピカピカに清掃し、椅子を丁寧に拭き、ステージを飾り、心をこめて彼らを待ちました。しかし、生徒たちはちゃんと分かっていました。最高の授与態度で臨み、素晴らしい式となりました。校庭では、保護者の方が、生徒と教職員を待っていてくれて、私達に感謝の言葉だけを残してお別れしました。後日、保護者の方からお手紙をいただきました。「卒業式には参列できませんでしたが、子ども達はみんな、キラキラした笑顔で校舎から出てきました。それで十分です。先生方のたくさんのお気遣いに深く、深く感謝申し上げます。」この手紙をずっと机の上に置き、1年を過ごしてきました。感謝の気持ちの裏側には、きっと無念さがあったことと思います。その思いを忘れないようにしようと1年間過ごしてきました。そしてもうすぐ1年、本校体育館での実施はできませんでしたが、皆さんの保護者の方々の席を準備することはできました。

下級生たちは、コロナ禍を乗り越えてきた皆さんに対して最高の思い出になるようにと、予餞会の準備や少ない時間を利用して卒業式の合唱の練習を繰り返しています。教職員も何度もホールの下見を行い、感染予防策を考え、打合せも繰り返しています。写真にあるように下級生、教職員全員で、最高の式になるように準備しています。皆さんも毎日のように授与の練習を繰り返かえし、卒業制作も行っていますね。3年生の先生方も初めての会場で行う証書授与で戸惑いながらも、毎日打合せを繰り返かえし、成功させようと頑張ってくれています。昨年、皆さんも3年生のために様々な準備をしてくださいましたよね。卒業式を迎えるにあたっての恒例の準備作業であり、練習です。しかし、その準備や練習は、学校の生徒、教職員、そして旅立っていく主役の3年生が、全員で義務教育最後の、そして最高の儀式を創り上げていく大切なプロセスでもあります。

皆さんの晴れ舞台であり、3年生の先生方の晴れ舞台であり、そして保護者の方々の晴れ舞台である「卒業式の成功のためのプロセス」は、言葉を換えて言えば、「この日の成功のために力を尽くそうと誓い合う人間同士の暗黙の約束」です。準備してくれた下級生、教職員、見守ってくれている保護者の方々に、卒業生がしっかりとした態度で証書を受け取ることで義務教育の終わり新しいスタートに立つことを示し、最高の歌を歌う。それが長町中学校の全員で交わす約束です。

かつて、私が学級担任だった時、その約束が崩れてしまった事がありました。ひとつ隣のクラスの担任の先生は、とても面倒見のよい先生で、初めて3年生を担当した若手の女性教員でした。卒業式をととても大切にしようとしていました。しかし、式当日、クラスの生徒達が数名、いつもとは違う出で立ちで登校してきました。その先生から笑顔が消えました。式終了後もずっと沈んでいました。最後の学活でも「何も話せなかった。何を言ったのか憶えていない」ほどのショックを受け、ずっと泣いていました。感動の涙ではなく、悲しみの涙でした。私も何も出来ず後悔しました。

私は担任でもなく、学年主任でもなく、皆さんにとって身近な存在ではなかったと思いますが、いつも3年生の生徒たちがいることで、そして、1、2年生の生徒たちがいてくれることで、学校に生徒の声や歓声があることで、背中を押され頑張れました。あと少し、一緒に進みましょう。

親愛なる3年生に送る2通目の手紙でした。 公立高校受験、みんな無事でありますように！